

# 速水小学校からの報告

## 水生生物調査結果

調 査 場 所 名 ( No. )		速水小学校付近 No.1	速水小学校付近 No.2	No.3														
月	日	時	刻	7月13日	9時00分	7月13日	10時30分											
天	気			曇り														
水	温	(	°C	17.5 °C				18.0 °C										
気	温	(	°C	28.0 °C				29.0 °C										
川	幅	(	m	1.1 m				1.1 m										
河	川 名			丁野木川支流				丁野木川支流										
生 物 を 採 取 し た 場 所				全 面				全 面										
水	深	(	cm	14.0 cm				14.0 cm										
流	速	(	cm / s	28.0 cm/s				28.0 cm/s										
水 の よ う す		指 標 生 物																
I き れ い	1	カワゲラ類																
	2	ナガレビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類																
	3	ヒラタケロウ類																
	4	ブユ類																
	5	ヘビトンボ類																
	6	カガンボ類																
	7	サワガニ																
I・II 共 通	8	ウズムシ類																
	9	2以外のトビケラ類																
	10	3、14以外のカゲロウ類																
II 少 し よ ご れ て い る	11	ヒラ外ロムシ類																
	12	シジミ類																
II・III 共 通	13	カワニナ																
III よ ご れ て い る	14	サホコカゲロウ																
	15	ヒル類																
	16	ミスムシ																
	17	モノアラガイ																
III・IV 共 通	18	サマキガイ																
IV 大 変 よ ご れ て い る	19	赤いユスリカ																
	20	イトミス類																
	21	ハナアブ類																
水 質 判 定 表	水 の よ う す の 区 分			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV			
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)																
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)																
	合 計 (1欄+2欄)			4	4	2	2	5	5	3	1	0	0	0	0			
判定結果(合計が最も大きい区分)				I・II				I・II										

## 調査考察、活動内容

### (1) 調査の概要

<調査した日や川の様子>

調査場所 : 速水小学校近く  
(丁野木川支流)

調査日 : 7月13日(木)

天気 : 曇り

時間 : 8:45~11:30 ごろまで

気温 : 28℃

水温 : 18℃

川幅 : 1.1m

水深 : 14cm 流れの速さ : 28cm/s



### (2) 活動の様子

速水小学校のみずすまし調査隊(4年生42名)は、7月13日(木)、い組1・2校時、ろ組2・3校時に速水小学校近くの川で水生生物調査を行いました。各クラスともに、始めにみずすましアドバイザーの八木善勇氏から水生生物の採取及び観察・仕分けの方法等について指導を受けた後、実際の調査を行いました。

どちらのクラスも、速水小学校近くの丁野木川に流れ込む川の水質について調査しました。丁野木川は、民家の近くを流れる川で、子どもたちにもなじみがあり、放課後や休日には、魚とりをするなど身近な川で、小魚やサワガニが生息する比較的きれいな川です。川に出向き、水生生物の採取を行い、その後帰校して、観察・仕分け等の調査を行いました。

子どもたちは、アドバイザーの方の話に熱心に耳を傾けながら、多くの生き物たちが川の中にすんでいるということを学びました。子どもたちの多くは、早く川の中に入ってこれらの生物を捕まえたいと胸をわくわくさせていました。たくさんの水生生物が生息していたので、採取や分類を熱心にするあまり、最後のまとめの時間が少し足りなかったのが残念でしたが、子どもたちは意欲的に取り組むことができました。





◎実際に川に入り、水生生物を捕っている様子  
 調査場所 (速水小学校 東 200 メートル付近)



採取の仕方、生物がいそうな場所を知る



水草の中からもめずらしい生物が出てきた



ザリガニが捕れた



「この生き物は何ですか？」アドバイザーに質問

実際に川の中に入ると子どもたちは、教えていただいた採取方法で、水生生物採取にとりかかりました。また、何度も何度も水の中や石の下、水草の中に網を入れ水生生物が入っていないかどうか確かめながら採取を行いました。

子どもたちは、生物を見つけると直ぐにその名前をアドバイザーの方に聞きに行くなどする姿が見られました。また、班のみんなで確かめながら、役割を分担して、採取をすることができました。

### (3) 調査結果

◎丁野木川支流で見つけた水生生物

- |           |       |       |
|-----------|-------|-------|
| ・サワガニ     | ・ドンコ  | ・カワムツ |
| ・カゲロウ     | ・ドジョウ | ・スジエビ |
| ・ヨコエビ     | ・ヌマエビ | ・カワニナ |
| ・アメリカザリガニ | ・カメ   | など    |





各クラスによって、採取された水生生物の数に偏りはあったものの、どちらも同じ水生生物が多く採取できました。サワガニやアメリカザリガニなど普段からよく知っている生物から、カゲロウやナベブタムシなど石をどけたり裏返したりしないとなかなか見つからないような小さな生物も見つかりました。またどちらのクラスも指標生物ではないが、ヨコエビやスジエビが多く採取でき、興味深く観察することができました。自分たちで分類することで、近くの川が思っていたよりも汚れていることに気付くことができ、自然環境への意識を高めることができました。



#### (4) 考察（調べてわかったこと）

速水小学校近くの川は、本校のすぐそばを流れる川で、においはほとんど感じられなかったが、昨年よりも水の透明度が低く、少し川の水が汚れたのではないかと思います。その汚れの原因の一つとして、生活排水が流れ出ていることや、田んぼの影響を受けていることが考えられます。住宅地の近くにあり、田んぼや畑も周りに多くあることから、汚れた水が流れ込んでいるのではないかと考えられます。水生生物から分るとおり、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳすべての指標生物がおり、水質はきれいとも汚れているとも言えない結果となりました。コンクリート張りではなく、川底が泥や砂であるということは、川のきれいさに影響していると考えます。

6月に実施した草野川上流でのやまのこ学習では、Ⅰ・Ⅱの指標生物が多く生息していることを学びました。今回の水生生物調査で、上流の川と民家の淵にある川の生き物から水質のちがいを学ぶ良い機会となりました。

#### (5) 環境日記

- ・学校の近くの川に、小さな生物がたくさんいました。川の水は汚れていると思っていたけど、調べてみるときれいな水にすむ生物がとれたことがわかりました。ザリガニは友達と捕まえたことがあったけど、カメは初めて捕まえました。他の川の生き物も調べてみたいと思いました。
- ・川の水温、水の流れの速さを初めて調べました。川の汚れや水温で、川にいる生き物が変わることを知りました。もっときれいな川や、汚れている川にはどんな生き物がいるのか知りたくなりました。
- ・自分たちが住んでいる地域の川なのに、今までどんな生き物がいるのか知りませんでした。網ですくってみると、いろんな生き物がとれてびっくりしました。また、その生き物で川のきれいさがわかることが驚きでした。やまのこで草野川を調べたときよりは川が汚れていたなので、川を汚さないように生活していきたいです。